

□主な内容

【第 11 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(大田)を実施します！】

9月27日(水)～29日(金)の3日間、EST 交通環境大賞で優秀賞を受賞した世界遺産石見銀山のある島根県大田市で「地域の交通環境対策推進者養成研修会 ～世界遺産を持つ地方都市から学ぶ官民共創の持続可能な交通づくり～」を開催します。皆様のご参加をお待ちしています！

<https://www.estfukyu.jp/training2023.html>

【第 26 回地域バス交通活性化セミナー「大都市近郊における乗合バス復権に向けて」を開催します！】

8月9日(水)に、地域公共交通計画の改定を検討している一宮市を開催場所として、第26回地域バス交通活性化セミナーを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

[https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/26th\\_seminar.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/26th_seminar.html)

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 204 回)

●冬の JR に思う

【北海道大学大学院工学研究院 教授 高野 伸栄】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 204 回)

●多様な自給エネルギーを活かした持続可能なまち・交通づくり

【北海道 鹿追町長 喜井 知己】

3. ニュース／トピックス

●地域の多様な関係者の「共創」による地域交通の維持・活性化の取組等を支援！ ～令和5年度「共創モデル実証プロジェクト」の事業選定・追加公募について～【国土交通省】

●「令和5年版国土交通白書」を公表します ～デジタル化で変わる暮らしと社会～【国土交通省】

●「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称が決まりました！【環境省】

●G7香川・高松都市大臣会合の結果について ～持続可能な都市の発展に向けた協働を進めるため「香川・高松原則」を発表～【国土交通省】

- 13地区の先進的なスマートシティプロジェクトの支援を決定 ～令和5年度スマートシティ実装化支援事業の選定～【国土交通省】
- 令和5年度 日本版MaaS推進・支援事業で6事業を選定しました！ ～他分野連携やサービス広域化等の促進によりMaaSの高度化を図ります～【国土交通省】
- 地域公共交通の「リ・デザイン」 ～「交通政策審議会交通体系分科会地域公共交通部会」最終とりまとめ～【国土交通省】
- トラック・タクシーの電動化を支援！ ～2023年度「商用車の電動化促進事業(トラック・タクシー)」の公募を開始～【国土交通省、環境省、経済産業省】
- ラストワンマイル・モビリティ／自動車DX・GXに関する検討会 ～「担い手確保、自動車DX・GXに関する今後の取組の方向性」について～【国土交通省】
- 内閣府未来技術社会実装事業と連携した自動運転サービス導入支援事業について(選定)【国土交通省】
- 第11回全国貨物純流動調査(物流センサス)の調査結果について【国土交通省】
- 脱炭素先行地域(第4回)募集について【環境省】
- 交通運輸分野の政策課題解決に資する短期集中型の研究課題を募集します～「交通運輸技術開発推進制度 令和5年度新規研究課題の追加公募」～【国土交通省】
- 国際海運「2050年頃までにGHG排出ゼロ」目標に合意 ～国際海事機関 第80回海洋環境保護委員会(7/3～7/7)の開催結果～【国土交通省】
- 「次世代高規格ユニットロードターミナル検討会 中間とりまとめ」の公表【国土交通省】
- 海事分野における脱炭素化促進事業(うちLNG燃料システム等導入支援事業)の公募について【国土交通省、環境省】
- 令和5年度LNGバンカリング拠点形成事業を採択【国土交通省】
- 「第13回 EST 普及推進フォーラム」を開催しました【EST 普及推進委員会、エコモ財団】
- 公共交通活性化に向けて山形県大江町でエコ通勤！ ～大江町役場がエコ通勤優良事業所として認証されました～【東北運輸局】
- 「東京都スマートサービス実装促進プロジェクト」スマートサービス実装促進事業者 3 者を決定しました！【東京都】
- 「天神・博多へのお出かけは公共交通で」福岡市・西鉄・JR 九州の3者が連携！！【福岡市、西鉄、JR 九州】
- LRT 開業記念事業スペシャルマンズリー等のイベントについて【宇都宮市】
- 常盤町・柏木町でバスの実証運行が始まりました【常盤町、柏木町】
- 国内初となるバス営業所内水素ステーションの整備・運営を行う事業者を公募します【東京都】
- グリーンスローモビリティ(ランドカータイプ)運行社会実験【富山市】
- 富山駅北グリーンスローモビリティ本格運行【富山市】
- 移動が便利に！ 公共交通不便地域におけるデマンド型交通実証実験の開始【大田区】
- 新たな交通サービス「デマンド交通おうらい」実証運行開始【小林市】

- 群馬県とヤマト運輸、「カーボンニュートラル実現に向けた共創に関する連携協定」を締結【群馬県、ヤマト運輸】
- カーシェアでEVを体験しませんか！大阪府民を対象とした乗車体験キャンペーンを実施します【大阪府】
- EVを活用し脱炭素社会と地域の強靱化に向け共創【東村山市、日産自動車、日産東京販売】
- EVを活用し脱炭素化及び強靱化の実現に向け共創 EVを活用した連携協定を締結【伊佐市、日産自動車、鹿児島日産自動車】
- EVを活用したまちづくりに向け共創 脱炭素社会の実現と地域課題解決に向け包括連携協定を締結【丸亀市、日産自動車、香川日産自動車、日産プリンス香川販売】
- EVを活用しゼロカーボン実現と強靱なまちづくりに向け共創 EVを活用した連携協定を締結【越前市、日産自動車、福井日産自動車、日産プリンス福井販売】
- 旭川市の歩行者専用道路でWHILLなど近距離モビリティ体験会を実施 ～7/1 改正道交法でモビリティの活用可能性に注目高まる中、歩行領域における歩行者との共存性や社会受容性を模索～【旭川市、WHILL】
- エコライフアプリ「SPOBY」で全市民対象の脱炭素プロジェクト稼働/兵庫県高砂市【高砂市、スタジオスポビー】
- エコライフアプリ「SPOBY」が2023年度長浜市DXプロジェクトに採択/滋賀県長浜市【スタジオスポビー、長浜市】
- 「関西 MaaS」機能高度化事業が国土交通省の令和5年度日本版MaaS推進・支援事業に選定されました【Osaka Metro、近鉄グループHD、京阪HD、南海電気鉄道、JR西日本、阪急電鉄、阪神電気鉄道】
- 予土線（高知県側）におけるモーダルミックスによる利便性向上施策（実証実験）の実施について【JR四国、四万十交通】
- [きて・みて・まわると・みんなワクワク]スマートフォンアプリ「mawaroute(マワルト)」を活用した実証実験を実施します【広島電鉄、Mona】
- 紀中サイクルイベント HUB23「SHIMANO SQUARE」プロデュース Ride&Fish 2023年もやります！臨時くろしおサイクルツアー発売開始!!【JR西日本、日本旅行】
- 東京農業大学と小田急グループ3社が「小田急沿線の地域価値向上に関する包括連携協定」を締結 ～経堂・本厚木エリアを中心に、コミュニティ活性化など社会課題を解決～【東京農業大学、小田急電鉄、小田急SCディベロップメント、小田急エージェンシー】
- グリーンボンドの発行条件決定について【JR九州】
- 環境に優しく、時間通りに即日輸送！JR九州の荷物輸送が超進化！九州新幹線荷物輸送サービス2つの新サービスが登場！法人限定で実証実験をスタートします【JR九州】
- 地域の“イイモノ”を、列車でどんどんお届け♪在来線＋新幹線のリレー輸送 初めて指宿駅から博多駅まで、貨客混載実証実験を行います！届いた商品は「つばめマルシェ@博多」で販売します【JR九州】

- スマートロッカーを活用した物流ハブサービス「BOPISTA(ボピスタ)」サービス継続利用意向 94%！鉄道輸送量・稼働日拡大で、7月10日からサービス再開更なる利便性向上と環境負荷低減を実現します【西武HD】
- タクシー事業者のDXを推進 LINEを活用した「配車サービス」の8月本格提供に向けて一部タクシー事業者へのテスト導入を開始【NearMe、パーソルプロセス&テクノロジー】
- 「西新宿エリアの魅力を高める新たなモビリティ」として自動運転モビリティが毎月走行します【新宿副都心エリア環境改善委員会、大成建設、ティアフォー、損害保険ジャパン、アイサンテクノロジー、KDDI、日本信号、大成ロテック、プライムアシスタンス、三菱電機】
- 「なみえスマートモビリティ」による子ども向け送迎サービス「スマモビきっず」を開始【日産自動車】
- オンデマンド配車サービス「なみえスマートモビリティ」の運行を拡大【日産自動車】
- 公共交通を補完する新たな交通手段として注目 シームレスな移動や暮らしの実現を目指し、西武鉄道拝島線沿線で電動キックボードシェアリングを活用した実証実験を開始【西武HD、BRJ】
- <都心の広場・公園的空間のあり方を検証する社会実験> Marunouchi Street Park 2023 Summer【Marunouchi Street Park 2023 実行委員会】
- ～環境省「水素内燃機関活用による重量車等脱炭素化実証事業」～ 「既販中型重量車の水素エンジン化事業性検証プロジェクト」において富山県内にて貨物輸送に向けた実証走行試験を開始【フラットフィールド、東京都市大学、トナミ運輸、北酸、早稲田大学アカデミックソリューション】
- NTT Com、日本カーソリューションズ、クレアトゥラがEVの走行データを活用した温室効果ガス削減プロジェクトの実証実験を開始 ～3社が共創し、カーボンニュートラルへの貢献と将来的な事業性検証を開始～【NTT Com、日本カーソリューションズ、クレアトゥラ】
- 2025年に国内全製造拠点をカーボンニュートラル化【三菱ふそうトラック・バス】
- 産学連携！広島国際大学で近距離モビリティ WHILL を活用した「移動とリハビリの分離」について講義 ～歩行領域の移動手段をより身近に感じ、“自立的な生活を支援するツール”として考えていただくために～【WHILL、広島国際大学】
- 上諏訪駅で「電動アシスト付自転車」貸出しサービスを開始します！【ジェイアールバステック、JR東日本長野支社】
- 世界初のEV バイオマス燃料輸送船「あすか」が竣工タブレット端末を利用したポータブル運航支援システム“ナビコ”を搭載してパイロット試験も開始【e5ラボ、Marindows、三菱造船】
- 共同開発の国産ドローンによる事業化検討を開始 ～開発から運用、人材育成までをトータルで提供するビジネススキームの構築を目指す～【出光興産、双葉電子工業】
- ハワイ州ホノルルで米国初の完全自動運転都市鉄道システムが運行を開始【日立】

- 自動車部品物流の脱炭素化へ 大型 EV トラックによる共同実証実験を中国で開始 パートナーシップで電池利用のリスク軽減へ【日郵振華物流有限公司、三井住友海上火災保険有限公司、パナソニック四維モビリティテクノロジーサービス北京有限公司】
- ニューヨークのサマーストリートが 20 マイルの自動車通行禁止空地に拡大【NEW YORK CITY(WABC)】

#### 4. イベント情報

- 第11回地域の交通環境対策推進者養成研修会(大田) ～世界遺産を持つ地方都市から学ぶ官民共創の持続可能な交通づくり～【2023/9/27-29】
- 親子でわくわく体験！南海沿線2023 ～やってみよう！を育てよう～【2023/7/1-8/20】
- 国土交通Day親子見学会【2023/7/28】
- 国土交通省 こども霞が関見学デー【2023/8/2-3】
- 令和5年度「環境省こども霞が関見学デー」【2023/8/2-3】
- 夏の思い出に！自由課題に！ちびっこ鉄道ワークショップを開催します！【2023/8/5】
- 海洋都市横浜うみ博2023【2023/8/5-6】
- 乗務員さんと行く！「電車のダイヤをつくろう」せいぶ鉄道教室2023【2023/8/5、11、12】
- 第15回土木と学校教育フォーラム「地域を支える『インフラ』の学習 ～道路、河川、港、鉄道、そして街と自然～」【2023/8/6】
- 第26回地域バス交通活性化セミナー「大都市近郊における乗合バス復権に向けて」【2023/8/9】
- ロマンسカー親子遠足 箱根【2023/8/16】
- 夏休み豊鉄市内線 ドキドキ電車運転体験【2023/8/17】
- 地域脱炭素ネットワークイベント【2023/8/31】
- 第18回日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)【2023/9/22-23】
- 乗用車のエコドライブ講習認定申請のための 2023 年度インストラクター養成研修会【2023/11/2】

#### 5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 204 回)

●冬の JR に思う

【北海道大学大学院工学研究院 教授 高野 伸栄】

夏真っ盛りですが、冬の話で恐縮です。

夏季、北海道の道路は渋滞もなく、道路幅も広く(堆雪スペースのため広いのです)、快適ですが、冬季、つるつる路面が発生すると、都市内では大渋滞となります。また、自転車は利用できません。夏季の快適な移動にかわり、吹雪の中を歩くか、公共交通、自動車等他の交通機関を使う必要があります。

2022 年 2 月、札幌市では 5 日(土)、6 日(日)に合計 61cm の大雪が降り、北海道内特に札幌都市圏内の交通に大きな影響が出ました。JR 北海道の運行は、2 月 6 日から、大混乱となり、7 日は終日運休、8 日夜に一部再開したものの、ほぼ麻痺状態が続き、10 日まで、多くの列車が運休する事態となりました。この間、会社側も手をこまねいていたわけではありません。運行正常化に向けて、社内全力をあげ、除排雪を行い、必死に努力を重ねていました。線路上に停止した列車回りの除雪は、全て手作業となります。

このような厳しい冬を経験した年の 12 月、札幌市内全域において、交通機関の満足度調査を行いました。(回収 578 票)これによると、地下鉄の満足度は夏冬を通じて、一番高く、季節差も極めて小さくなっています。これに対し、JR の満足度は、夏はバスよりもやや高いですが、何と、冬はバスよりも低い結果となっています。冬季でも平常時は当然、JR の方が旅行速度は高く、サービス水準は高いと考えられますが、この年 2 月の長期にわたる運休が、大きく信頼性を損ない、バスよりも低い満足度となったものと考えられます。

冬季の鉄道、バスの満足度を高めるためには、雪対策を今以上にレベルアップしなければなりません。雪は移動するにも、溶かすにもとても大きなエネルギーが必要となります。雪の影響をなくすには、地下鉄ネットワークの整備が理想ですが、簡単ではありません。積雪寒冷地において、環境的に持続可能な都市システム構築するためには、雪のない地域以上に、徹底した都市のコンパクト化や豪雪時の移動の抑制等、経済社会システム全体の GX がとても重要になると思います。

表 札幌市における夏季・冬季別交通機関満足度

|       | JR   | 地下鉄  | バス         | 総合   |
|-------|------|------|------------|------|
| 夏期    | 7.42 | 9.02 | 7.27       | 7.96 |
| 冬季    | 5.66 | 8.92 | 5.75       | 6.81 |
| 夏期－冬季 | 1.76 | 0.10 | 1.52       | 1.15 |
|       |      |      | 2022年12月調査 |      |

---

## 2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 204 回)

### ●多様な自給エネルギーを活かした持続可能なまち・交通づくり

【北海道 鹿追町長 喜井 知己】

#### 1.はじめに

鹿追町は、十勝平野の北西に位置し、農業と観光を基幹産業とする人口約 5,100 人程度の純農村地帯です。農業では、酪農と畑作を中心に生産額約 250 億円を誇り、持続性に富み活力ある産業づくりを推進しています。

観光面では雄大な大雪山国立公園の自然に恵まれ、標高 800m に豊かな水を湛える神秘の湖「然別湖」を中心として、年間約 80 万人の観光客が訪れています。また、2013 年には日本ジオパークとして認定され、「火山と凍れ(しばれ)が育む命の物語」をテーマに、地域にある学術的に貴重な資源を活用し、持続可能な地域づくりを推進しています。

また、2021 年 3 月 12 日に開催された鹿追町議会定例会において、十勝管内では初めて「バイオガスプラントを核とした鹿追型ゼロカーボンシティ」に挑戦することを表明し、2022 年 4 月には「脱炭素先行地域(第 1 回)」に、2023 年 4 月には「重点対策加速化事業」に選定を頂いております。

#### 2.バイオガスプラント(主に家畜ふん尿を資源とした地域資源循環型農業の確立)

前述のとおり、本町は「農業」と「観光」を基幹産業としていますが、観光客が増加する中、市街地を中心に乳牛ふん尿の適正処理(臭気改善)を望む声が高まってきました。このことから、市街地から排出される生ゴミや下水汚泥を適正処理するとともにバイオマス資源として有効活用を図るため、「鹿追町環境保全センター」を 2007 年より稼働しており、成牛換算 1,870 頭分の乳牛ふん尿処理が可能となっています。また、2016 年からは、町内 2 基目となる「瓜幕バイオガスプラント」が稼働し、成牛換算 3,000 頭分の処理能力となっています。

バイオガスプラントの処理過程で生産される「消化液」は、環境に優しい有機質肥料として町内の臭気改善と地力向上を図っています。また、バイオガスから電気と熱を生産し、電気については 2 基合わせて約 700 万 kwh/年の発電量があり、これは鹿追町の一般家庭の約 9 割の電気使用量に相当するものです。熱については、原料槽・発酵槽等の加温利用に加え、余剰熱の利活用として、チョウザメ飼育、マンゴー栽培、水耕栽培ハウスにて地域経済の活性化、新たな雇用の創出を推進しています。また、バイオガス中のメタンガスを精製圧縮してバイオガス自動車等に利用することも行っております。

### 3.家畜ふん尿由来水素の製造と供給

2015年から、環境省実証事業が本町で開始され、FCEV や FC フォークリフトの運用や純水素型燃料電池への水素供給などにより、水素を安定して「つくる・はこぶ・つかう」ことを証明しました。乳牛 1 頭のふん尿で FCEV1 台分の水素が作れることから、「約 2 万頭」が飼育される本町のポテンシャルは大きいと考えています。この実証の成功を踏まえ、2022 年より町と民間企業が連携し水素サプライ事業を商用化しまして、地域の民間事業者と住民の賛同・協力も得て公用車 10 台を含む FCEV21 台が地域に導入されています。さらにこの取組を持続・発展させるため、町の単独事業として 2022 年 10 月から FCEV の中古車も対象とした独自補助を整備し、現時点で 2 台の実績と 2 台の申請を頂いております。また、FC バス導入に向けた課題の整理を自動車メーカー・公共交通の運用主体と連携を図りながら進めているところです。

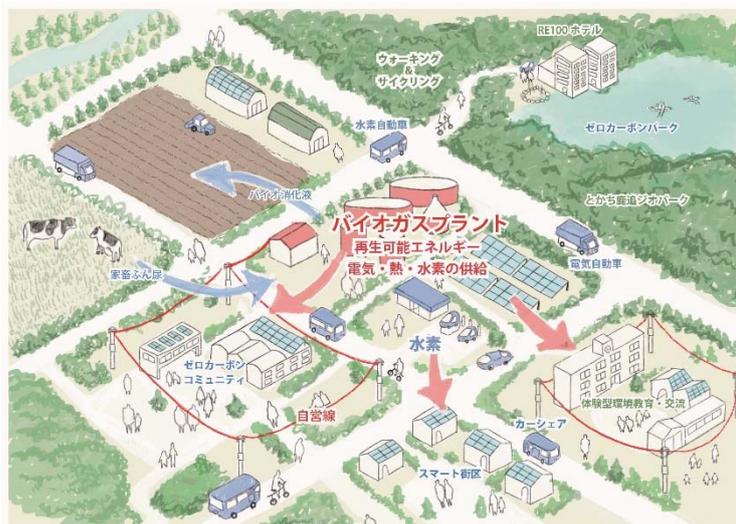


### 4.自営線マイクログリッド及び行動変容

本町は 2021 年から太陽光発電を主電源とした自営線マイクログリッド(主要公共施設群)を構築し、CEMS の運用により、太陽光発電余剰電力を EV、PHEV に物理的に供給しています。また、公用自転車の活用や徒歩・自転車通勤の推奨、全世帯を対象としたエコドライブ促進プロジェクトやきめ細かな環境教育など、先進的且つ総合的に交通環境対策に取り組む、持続可能性を追求しています。

## 5.おわりに

おわりになります。下記の絵は「2050年(未来)にあるべき鹿追町」のイメージです。テーマを「MIRAI COUNTRY」とし、持続可能で豊かな地方の姿を体現しています。地域資源を最大活用するバイオガスプラントを核とし、臭気対策及び有機消化液を農地に返す資源循環型農業と、バイオガスで得た電気・熱・水素等の多様なエネルギー循環を両立する「地域資源循環型社会」を構築。ライフスタイルにおいては脱炭素車両のシェアリングと併せて、徒歩や自転車利用も活発的に行われるような、先進技術と自然が身近にある鹿追町らしい日常を提案し、町民の「Well-Being」を追求します。そして、希少で豊かな大自然がある「ジオパーク・ゼロカーボンパーク」を生かした体験型の教育・観光・交流事業を展開し、カーボンニュートラルの先、「カーボンマイナス」を追求し、持続可能な地球環境の確立に貢献していきたいと考えております。



---

### 3. ニュース／トピックス

●地域の多様な関係者の「共創」による地域交通の維持・活性化の取組等を支援！ ～令和5年度「共創モデル実証プロジェクト」の事業選定・追加公募について～【国土交通省】

国土交通省は、地域の多様な関係者の「共創」により地域公共交通の「リ・デザイン」を進めるため、「共創モデル実証プロジェクト」の公募を行いました。応募のあった事業については、有識者の意見も踏まえて、地域交通の維持・活性化に取組む「共創モデル実証運行事業」を44件、地域における交通やまちづくりに取組む人材を育成する「人材育成事業」を19件の事業を選定しました。

これらの取組等を支援するとともに、他地域への横展開を図っていきます。また、7月14日より追加公募を開始しており、「共創」の取組への更なる後押しを進めます。追加公募の公募期間は12月1日までです。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12\\_hh\\_000327.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000327.html)

●「令和5年版国土交通白書」を公表します ～デジタル化で変わる暮らしと社会～【国土交通省】

国土交通白書は、国土交通省の施策全般に関する年次報告として毎年公表しています。今回の白書は、現在、政府全体で、デジタル社会の形成を推進していることを踏まえ、「デジタル化で変わる暮らしと社会」をテーマとしました。

国土交通省関係の行政手続のデジタル化や、防災、交通、まちづくり、物流、インフラなどの各分野における、今後のデジタル化に関する施策の方向性を示した上で、その先の「新しい暮らしと社会」を展望しています。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo01\\_hh\\_000050.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo01_hh_000050.html)

●「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称が決まりました！【環境省】

環境省は、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」が浸透・定着し、国民が脱炭素につながる豊かな暮らしを実践できるよう、シンプルで親しみやすく、愛着のあるネーミング(愛称)を国民から広く公募し、応募された8,200件をもとに愛称公募選定会議を2023年7月13日に開催した結果、「デコ活」が新しい国民運動の愛称に決定しました。

環境省は、この愛称名を応募したさいたま市の住民に、「あなただけの国立公園満喫ツアー」を贈呈します。

今後、政府として、この「デコ活」をあらゆる場面で活用し、企業・自治体・団体等の関係者と連携しながら普及・浸透を図り、脱炭素につながる国民・消費者の行動変容、ライフスタイル転換を一層促していきます。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_01899.html](https://www.env.go.jp/press/press_01899.html)

●G7香川・高松都市大臣会合の結果について ～持続可能な都市の発展に向けた協働を進めるため「香川・高松原則」を発表～【国土交通省】

2023年7月7日～9日に、高松市においてG7都市大臣会合が開催され、齊藤大臣が議長として、「持続可能な都市の発展に向けた協働」をテーマに議論を行いました。

会合では、「ネットゼロ、レジリエンス」、「インクルーシブ」、「デジタル」の3つのテーマについて議論が行われました。また、ウクライナに関する特別セッションを開催し、ウクライナの復旧・復興に向けた議論を行いました。

この成果として、コミュニケと香川・高松原則が取りまとめられました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi02\\_hh\\_000086.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi02_hh_000086.html)

●13地区の先進的なスマートシティプロジェクトの支援を決定 ～令和5年度スマートシティ実装化支援事業の選定～【国土交通省】

国土交通省は、先進的技術や官民データを活用し、まちの課題を解決し、新たな価値を創出するため、都市活動や都市インフラの管理及び活用を高度化する「スマートシティ」の実装に向けて、2019年度から各地区のスマートシティに関する取組を支援してきました。

内閣府・総務省・経済産業省・国土交通省が連携し、合同公募・審査を行い、先進的な都市サービスの実装化に向けて取組む13地区の実証事業の支援を決定しました。

2023年度からは、早期にまちへの実装を目指す取組等を行う先進地区を対象とした「都市サービス実装タイプ」を創設し、重点的な支援を実施します。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi07\\_hh\\_000228.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi07_hh_000228.html)

●令和5年度 日本版MaaS推進・支援事業で6事業を選定しました！ ～他分野連携やサービス広域化等の促進によりMaaSの高度化を図ります～【国土交通省】

国土交通省は、地域の課題解決に資するMaaSのモデル構築を図る「日本版MaaS推進・支援事業」について、他分野連携やサービスの広域化等の促進によりMaaSの更なる高度化を図る取組として、6事業を選定しました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12\\_hh\\_000322.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000322.html)

●地域公共交通の「リ・デザイン」 ～「交通政策審議会交通体系分科会地域公共交通部会」最終とりまとめ～【国土交通省】

国土交通省は、地域公共交通部会の最終とりまとめとして、これまでの交通政策の変遷と地域公共交通の現状、対応の方向性、さらなる課題をまとめました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12\\_hh\\_000324.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000324.html)

●トラック・タクシーの電動化を支援！ ～2023年度「商用車の電動化促進事業(トラック・タクシー)」の公募を開始～【国土交通省、環境省、経済産業省】

2050年カーボンニュートラル実現に向け、我が国の二酸化炭素排出量の約2割を占める運輸部門の脱炭素化が急務となっていることから、GX経済移行債を活用し、国土交通省・環境省・経済産業省が連携事業として、「商用車の電動化促進事業」を行います。公募期間は2024年1月31日までです。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10\\_hh\\_000290.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000290.html)

●ラストワンマイル・モビリティ／自動車DX・GXに関する検討会 ～「担い手確保、自動車DX・GXに関する今後の取組の方向性」について～【国土交通省】

バス・タクシー事業における運転者等の担い手不足は深刻であり、魅力的な職場環境の整備等による採用力の向上や交通サービスの生産性・効率性・利便性の向上につながる自動車DX・GXが重要となっています。国土交通省は、担い手確保の方策や自動車DX・GXの在り方を検討するため、2023年2月に、「ラストワンマイル・モビリティ／自動車DX・GXに関する検討会」を立ち上げ、議論を行ってきました。

国土交通省は7月3日、「担い手確保、自動車DX・GXに関する今後の取組の方向性」をとりまとめ、公表しました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03\\_hh\\_000398.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03_hh_000398.html)

●内閣府未来技術社会実装事業と連携した自動運転サービス導入支援事業について(選定)【国土交通省】

国土交通省は、内閣府と連携して、自動運転サービス導入を目指す市町村による実装を見据えた計画策定等の支援をしていくこととしています。

6月30日、支援の対象となる地方公共団体が、内閣府未来技術社会実装事業の手続きに基づき、選定されました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_001678.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001678.html)

●第11回全国貨物純流動調査(物流センサス)の調査結果について【国土交通省】

国土交通省は、2021年10月に実施した全国貨物純流動調査に関して、最終的な調査結果を取りまとめました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000697.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000697.html)

●脱炭素先行地域(第4回)募集について【環境省】

環境省は、2050年を待つことなく2030年度までに、カーボンニュートラルの実現を目指すと同時に地域の魅力と暮らしの質を向上させる脱炭素先行地域の第4回募集を、2023年8月18日から8月28日まで行います。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_01865.html](https://www.env.go.jp/press/press_01865.html)

●交通運輸分野の政策課題解決に資する短期集中型の研究課題を募集します～「交通運輸技術開発推進制度 令和5年度新規研究課題の追加公募」～【国土交通省】

国土交通省は、交通運輸分野の政策課題の解決に向け、交通運輸技術開発推進制度の新規研究課題(短期集中型)の公募を開始しました。公募期間は8月21日までです。

短期集中型にスタートアップ枠を設け、スタートアップの優先的な支援を行います。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo17\\_hh\\_000154.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo17_hh_000154.html)

●国際海運「2050年頃までにGHG排出ゼロ」目標に合意 ～国際海事機関 第80回海洋環境保護委員会(7/3～7/7)の開催結果～【国土交通省】

国際海事機関(IMO)は、2023年7月3日～7日に、第80回海洋環境保護委員会(MEPC80)を英国ロンドンで開催しました。

会合では、2018年に採択した「IMO GHG 削減戦略」を改定し、国際海運からの温室効果ガス(GHG)排出削減目標を「2050年頃までにGHG排出ゼロ」へと強化しました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji07\\_hh\\_000289.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji07_hh_000289.html)

●「次世代高規格ユニットロードターミナル検討会 中間とりまとめ」の公表【国土交通省】

国土交通省は、トラックドライバーの労働力不足が懸念される「物流の2024年問題」等に対し、モーダルシフトの受け皿となる内航フェリー・RORO 船ターミナルの機能強化を検討するため、「次世代高規格ユニットロードターミナル検討会」を設置し、検討を行ってきました。

6月30日、今後の取組の方向性等についての中間とりまとめを公表しました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/port03\\_hh\\_000108.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/port03_hh_000108.html)

●海事分野における脱炭素化促進事業(うちLNG燃料システム等導入支援事業)の公募について【国土交通省、環境省】

国土交通省は環境省と連携し、船舶からの更なるCO<sub>2</sub>排出量削減に向けて、LNG燃料船の普及促進を図るため、LNG燃料システム等の導入を促進する事業の公募を行います。公募期間は、2023年6月30日から7月31日までです。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji07\\_hh\\_000283.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji07_hh_000283.html)

●令和5年度LNGバンカリング拠点形成事業を採択【国土交通省】

国土交通省は、LNG燃料船の寄港の増加による国際競争力の強化や国内外の船舶のLNG燃料への転換を目的として、LNGバンカリング拠点を形成するため、必要となる施設整備に対する補助制度(補助率1/3以内)に基づき、2023年3月20日から4月19日までの期間に公募を行いました。

学識経験者等で構成された有識者委員会において厳正なる審査を行った上で、1事業を採択しました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/port02\\_hh\\_000183.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/port02_hh_000183.html)

●「第 13 回 EST 普及推進フォーラム」を開催しました【EST 普及推進委員会、エコモ財団】  
7 月 18 日に、EST の普及促進を図るため、EST の取組について講演やパネルディスカッション等で検討する「第 13 回 EST 普及推進フォーラム」を開催しました。

また、「第 13 回 EST 交通環境大賞」の表彰を本フォーラムの中で行いました。

基調講演にてモビリティ革命が脱炭素化を実現する条件について学び、受賞講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにて地域一体となって取り組む交通のカーボンニュートラルについて検討しました。

当日の講演資料を掲載しました。

<https://www.estfukyu.jp/forum15.html>

●公共交通活性化に向けて山形県大江町でエコ通勤！ ～大江町役場がエコ通勤優良事業所として認証されました～【東北運輸局】

2023 年 6 月 30 日付で、エコ通勤に関して高い意識を持ち積極的に推進している事業所として、大江町役場が認証・登録されました。

東北管内の町役場では初めての認証・登録です。山形県内で認証・登録されている優良事業所は、これで 3 事業所となりました。

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/content/000298888.pdf>

●「東京都スマートサービス実装促進プロジェクト」スマートサービス実装促進事業者 3 者を決定しました！【東京都】

東京都は、「スマート東京」の実現に向け、2022 年度より「東京都スマートサービス実装促進プロジェクト」を開始しました。都内全域をフィールドに、3 か年度で 60 件以上のスマートサービスをスタートアップによってスピーディに実装していくことを目指しています。

東京都と連携してスタートアップによるサービス実装を支援する「スマートサービス実装促進事業者」として 3 者を選定しました。

2023 年度は、2022 年度に選定した 3 者と合わせ、計 6 者のスマートサービス実装促進事業者と東京都が連携し、多様な価値の創出に向けた取組を進めていきます。

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2023/06/30/18.html>

●「天神・博多へのお出かけは公共交通で」福岡市・西鉄・JR 九州の 3 者が連携！！【福岡市、西鉄、JR 九州】

天神ビッグバンや博多コネクティッドにより、まちが大きく生まれ変わっていく中で、今後、都心部を訪れる市民・来街者の増加が見込まれ、交通混雑緩和が重要となります。

天神・博多のまちづくりや交通を担う福岡市・西日本鉄道株式会社・九州旅客鉄道株式会社の 3 者が連携し、都心部の交通対策として“天神・博多へは公共交通を利用”してもらう取組を推進します。

[https://www.nishitetsu.co.jp/ja/news/news20230712/main/0/link/23\\_026.pdf](https://www.nishitetsu.co.jp/ja/news/news20230712/main/0/link/23_026.pdf)

●LRT 開業記念事業スペシャルマンズリー等のイベントについて【宇都宮市】

8月26日(土曜日)の開業まで、ついに2か月を切りました。

開業日前後のイベントが続々と決まってきましたので、お知らせいたします。

各取組の詳細は、決定次第、随時「芳賀・宇都宮 LRT 開業記念特設サイト」でお知らせしてまいります。

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/kotsu/lrt/1028857/1032609.html>

●常盤町・柏木町でバスの実証運行が始まりました【常盤町、柏木町】

常盤町と柏木町の一部は、JR 駅やバス停が周囲にない”公共交通空白地域”です。

そのため、生活の足の確保が課題となっていることから、当該地域ではどのような利用ニーズがあるのか把握する市バスを活用した実証運行を行っています。運行期間は8月29日までです。

<https://www.city.noboribetsu.lg.jp/article/2023060900033/>

●国内初となるバス営業所内水素ステーションの整備・運営を行う事業者を公募します【東京都】

東京都交通局は、「ゼロエミッション東京」の実現に貢献するため、燃料電池バスを全国に先駆けて導入し、現在、国内バス事業者最大の73両を運用しており、2024年度までに80両まで拡大することとしています。

燃料電池バスの導入を更に拡大していくためには、バスに対応した水素ステーションの拡充が必要です。また、効率的な運用には都営バス営業所内において水素を充填できることが効果的であるため、国内初となる営業所内ステーションを有明自動車営業所に整備し、整備・運営する事業者の公募を開始しました。公募期間は8月31日までです。

[https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/pickup\\_information/news/bus/2023/bus\\_p\\_2023062611032\\_h.html](https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/pickup_information/news/bus/2023/bus_p_2023062611032_h.html)

●グリーンスローモビリティ(ランドカータイプ)運行社会実験【富山市】

富山市は、持続可能な地域公共交通網の形成を目指し、市民の日常生活における交通を担う新たな移動手段として、環境にやさしく低速で安全なグリーンスローモビリティの活用の可能性を検証するため、大沢野地区にて運行社会実験を実施します。運行期間は8月31日までです。

<https://www.city.toyama.lg.jp/kurashi/road/1010282/1010291/1006329.html>

●富山駅北グリーンスローモビリティ本格運行【富山市】

富山市は、2020 年度から実証実験を実施したグリーンスローモビリティについて、富山駅北エリアの更なる賑わいの創出や、魅力の向上を図るため、2023 年度から本格運行を実施します。運行期間は、2023 年 8 月 6 日から 11 月 26 日までです。

<https://www.city.toyama.lg.jp/kurashi/road/1010282/1010291/1013064.html>

●移動が便利に！公共交通不便地域におけるデマンド型交通実証実験の開始【大田区】

大田区交通政策基本計画に掲げた基本的な施策である「公共交通不便地域の改善」や「多様な移動サービスの提供」を具体化するために、デマンド型交通の実証運行を開始しました。運行期間は 2024 年 6 月 30 日までです。

バスや電車が通っていないエリア内において、日時やミーティングポイントを事前に予約すると、同じエリアのミーティングポイント間を移動することができます。

<https://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/press/releaseR05/2023070302.html>

●新たな交通サービス「デマンド交通おうらい」実証運行開始【小林市】

小林市は、2021 年度に策定した「小林市地域公共交通計画」に基づき、公共交通の利便性向上と事業継続を実現するため、新たな交通形態への転換可能性を検討しています。

北西方地区において小林市デマンド交通「おうらい」の実証運行を開始しました。運行期間は 2024 年 3 月までです。

<https://www.city.kobayashi.lg.jp/soshikikarasagasu/sogoseisakubukikakuseisakuka/oshirase/7471.html>

●群馬県とヤマト運輸、「カーボンニュートラル実現に向けた共創に関する連携協定」を締結【群馬県、ヤマト運輸】

ヤマト運輸株式会社は、群馬県と「カーボンニュートラル実現に向けた共創に関する連携協定」を 2023 年 6 月 28 日に締結しました。

両者が掲げる目標や特色・強みを掛け合わせることで、カーボンニュートラルの実現および生活者・事業者・自治体の全てにメリットがある持続可能な社会の実現を目指します。

[https://www.yamato-hd.co.jp/news/2023/newsrelease\\_20230628\\_1.html](https://www.yamato-hd.co.jp/news/2023/newsrelease_20230628_1.html)

●カーシェアで EV を体験しませんか！大阪府民を対象とした乗車体験キャンペーンを実施します【大阪府】

大阪府は、自動車から排出される二酸化炭素等の削減を図ることを目的として、EV 等の普及を促進しています。

大阪府民を対象にカーシェアで気軽に EV を体験できるキャンペーンを開始しました。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=48172>

●EV を活用し脱炭素社会と地域の強靱化に向け共創【東村山市、日産自動車、日産東京販売】

東村山市と、日産自動車株式会社および日産東京販売株式会社の 3 者は、7 月 14 日、脱炭素社会を見据え、EV の蓄電池機能を活用しながら市の強靱化を図ることを目的とした連携協定を締結しました。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/release-74bfbd482030a2277a48ead4f2ad477-230714-01-j>

●EV を活用し脱炭素化及び強靱化の実現に向け共創 EV を活用した連携協定を締結【伊佐市、日産自動車、鹿児島日産自動車】

伊佐市、日産自動車株式会社、鹿児島日産自動車株式会社の 3 者は、6 月 30 日、脱炭素社会の実現や災害対策強化等、地域課題の解決に向けて「EV を活用した脱炭素化及び強靱化に関する連携協定」を締結しました。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/release-d869f22ea405cc270e1cd0ea426a0706-230630-01-j>

●EV を活用したまちづくりに向け共創 脱炭素社会の実現と地域課題解決に向け包括連携協定を締結【丸亀市、日産自動車、香川日産自動車、日産プリンス香川販売】

丸亀市と、日産自動車株式会社、香川日産自動車株式会社および日産プリンス香川販売株式会社の 4 者は、6 月 27 日、脱炭素社会の実現および災害対応等、地域課題の解決に向けて EV を活用する、「包括連携協定」を締結しました。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/release-d869f22ea405cc270e1cd0ea423026aa-230627-02-j>

●EV を活用しゼロカーボン実現と強靱なまちづくりに向け共創 EV を活用した連携協定を締結【越前市、日産自動車、福井日産自動車、日産プリンス福井販売】

越前市と、日産自動車株式会社、福井日産自動車株式会社および日産プリンス福井販売株式会社の 4 者は、6 月 26 日、ゼロカーボン実現や災害対策の強化に向けて、「EV を活用した脱炭素化及び強靱化に関する連携協定」を締結しました。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/release-d869f22ea405cc270e1cd0ea4214342a-230626-01-j>

●旭川市の歩行者専用道路で WHILL など近距離モビリティ体験会を実施 ～7/1 改正道交法でモビリティの活用可能性に注目高まる中、歩行領域における歩行者との共存性や社会受容性を模索～【旭川市、WHILL】

WHILL 株式会社は、2023 年 7 月 1 日（土）に旭川市の旭川平和通買物公園において、近距離モビリティ WHILL を含む、歩行領域を走行できる小型モビリティの実地調査を兼ねた体験会を実施しました。昨今の相次ぐ道路交通法の改正、高齢化の加速を背景に、安心安全を担保しながら「徒歩」をカバーする移動ニーズが高まる中、歩行領域における歩行者と小型モビリティとの共存性や社会受容性などを調査するとともに、周辺の回遊性を向上させることで、特に歩きづらさを抱える方やシニア世代の外出機会を創出することを目指しました。近距離モビリティ WHILL を取り扱う株式会社ホンダカーズ旭川と、WHILL 専用の保険を含めたサポートサービスなどを共同開発する東京海上日動火災保険株式会社も協力しています。

<https://whill.inc/jp/news/133129>

●エコライフアプリ「SPOBY」で全市民対象の脱炭素プロジェクト稼働/兵庫県高砂市【高砂市、スタジオスポビー】

株式会社スタジオスポビーは、2023年度高砂市『TAKASAGO TECK LINK\*CHALLENGE』に採択されました。2023年7月28日より、当社が開発するエコライフアプリ「SPOBY」を活用し、ゼロカーボンシティ実現に向けたプロジェクトを推進します。

[https://spoby.jp/news/20230712\\_02\\_press.html](https://spoby.jp/news/20230712_02_press.html)

●エコライフアプリ「SPOBY」が2023年度長浜市DXプロジェクトに採択/滋賀県長浜市【スタジオスポビー、長浜市】

株式会社スタジオスポビーは、2023年度長浜市DX実証実験プロジェクト事業に採択されました。2023年8月1日より、当社が開発するエコライフアプリ「SPOBY」を活用し、ゼロカーボンシティ実現に向けたプロジェクトを推進します。

[https://spoby.jp/news/20230712\\_01\\_press.html](https://spoby.jp/news/20230712_01_press.html)

●「関西 MaaS」機能高度化事業が国土交通省の令和5年度日本版 MaaS 推進・支援事業に選定されました【Osaka Metro、近鉄グループ HD、京阪 HD、南海電気鉄道、JR 西日本、阪急電鉄、阪神電気鉄道】

関西に主要路線を持つ、大阪市高速電気軌道株式会社、近鉄グループ HD 株式会社、京阪 HD 株式会社、南海電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社を運営主体とする関西 MaaS 協議会は、2023年夏頃にサービス開始を予定しているアプリ「KANSAI MaaS」について、「『関西 MaaS』機能高度化事業」として、国土交通省の令和5年度日本版 MaaS 推進・支援事業に6月30日付で選定されました。

[https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230630\\_00\\_press\\_kansaimaas.pdf](https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230630_00_press_kansaimaas.pdf)

●予土線（高知県側）におけるモーダルミックスによる利便性向上施策（実証実験）の実施について【JR 四国、四万十交通】

四国旅客鉄道株式会社と株式会社四万十交通は、公共交通の利用促進および地域に最適で持続可能な「公共交通ネットワークの四国モデル」構築を目的に、JR 予土線と四万十交通とのモーダルミックスによる利便性向上施策を開始しました。実施期間は11月12日までです。

[https://www.jr-shikoku.co.jp/03\\_news/press/2023%2007%2014%2004.pdf](https://www.jr-shikoku.co.jp/03_news/press/2023%2007%2014%2004.pdf)

●[きて・みて・まわると・みんなワクワク]スマートフォンアプリ「mawaroute(マワルト)」を活用した実証実験を実施します【広島電鉄、Mona】

広島電鉄株式会社と株式会社 Mona は、Mona が開発したアプリ「mawaroute」を活用し、沿線の人流を創出し、店舗への誘客効果を「見える」化する広告モデル「CPV 広告」の実証実験を開始しました。実施期間は 9 月 30 日までです。

一般ユーザーに向けて広く同アプリを活用し、CPV 広告の効果を検証する実証実験は日本で初めての取組です。

<https://www.hiroden.co.jp/topics/2023/0710-mawaroute.html>

●紀中サイクルイベント HUB23「SHIMANO SQUARE」プロデュース Ride & Fish 2023 年もやります！臨時くろしおサイクルツアー発売開始!!【JR 西日本、日本旅行】

和歌山の真ん中、紀中エリアの 1 市 6 町を舞台にサイクルイベント「HUB」が 2022 年から始まりました。西日本旅客鉄道株式会社はこれにあわせて、自転車を分解せずに乗車できる「臨時くろしおサイクル」を運転し、大会参加者からも好評でした。2023 年は「HUB23」の参加者に加え、新たに「SHIMANO SQUARE」プロデュースの Ride & Fish が楽しめるプランも設定しました。

[https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230707\\_00\\_press\\_rinjikuroshiocycletour.pdf](https://www.westjr.co.jp/press/article/items/230707_00_press_rinjikuroshiocycletour.pdf)

●東京農業大学と小田急グループ 3 社が「小田急沿線の地域価値向上に関する包括連携協定」を締結 ～経堂・本厚木エリアを中心に、コミュニティ活性化など社会課題を解決～【東京農業大学、小田急電鉄、小田急 SC ディベロップメント、小田急エージェンシー】

東京農業大学と小田急電鉄株式会社、株式会社小田急 SC ディベロップメント、株式会社小田急エージェンシーの小田急グループ 3 社は、2023 年 7 月 3 日に「小田急沿線の地域価値向上に関する包括連携協定」を締結しました。

<https://www.odakyu.jp/news/dq40940000002tsq-att/dq40940000002tsx.pdf>

●グリーンボンドの発行条件決定について【JR 九州】

九州旅客鉄道株式会社は、7 月 14 日、グリーンボンドの発行条件を決定しました。本グリーンボンドの発行総額は 10 年債が 100 億円であり、調達した資金は、「長崎駅周辺開発」「JR 鹿児島中央ビル」等の施策に充当する予定です。今後も継続的に ESG ファイナンスを拡大させ、サステナビリティへの取組の重要な柱である「脱炭素社会の実現」を促進していきます。

[https://www.jrkyushu.co.jp/common/inc/news/newtopics/\\_icsFiles/afieldfile/2023/07/14/230714\\_greenbond\\_1.pdf](https://www.jrkyushu.co.jp/common/inc/news/newtopics/_icsFiles/afieldfile/2023/07/14/230714_greenbond_1.pdf)

●環境に優しく、時間通りに即日輸送！JR 九州の荷物輸送が超進化！九州新幹線荷物輸送サービス 2 つの新サービスが登場！法人限定で実証実験をスタートします【JR 九州】

九州旅客鉄道株式会社は、2021 年 5 月 18 日に新幹線荷物輸送をスタートし、サービスエリアの拡大や在来線を活用した荷物輸送、大口輸送の実証実験等を行ってきました。JR 九州グループにて物流事業を担う JR 九州商事株式会社と協力し、新幹線輸送に、駅

までの輸送と、駅から先の輸送をプラスした新サービスと、緊急輸送に対応する新サービスの実証実験を開始しました。本格導入に向け、ニーズの高い区間や時間帯など検証し、社会課題に寄与する JR 九州グループならではの物流事業構築を目指していきます。

[https://www.jrkyushu.co.jp/news/\\_icsFiles/afiedfile/2023/06/29/230629\\_kyushushinkansen\\_nimotuyusou\\_hayabin\\_houzingentei.pdf](https://www.jrkyushu.co.jp/news/_icsFiles/afiedfile/2023/06/29/230629_kyushushinkansen_nimotuyusou_hayabin_houzingentei.pdf)

●地域の“イモノ”を、列車でどんどんお届け♪在来線+新幹線のリレー輸送 初めて指宿駅から博多駅まで、貨客混載実証実験を行います！届いた商品は「つばめマルシェ@博多」で販売します【JR 九州】

九州旅客鉄道株式会社は、九州新幹線や特急列車を活用した「荷物輸送サービス」を実施していますが、普通列車と新幹線を組み合わせることで、新幹線停車駅から離れた地域の逸品も即日輸送できる仕組みの構築に向けて、実証実験を実施しました。指宿地区で朝収穫した野菜や作りたて商品を、初めて指宿駅から在来線+新幹線でリレー輸送しました。なお、輸送した美味食材は、地域のおいしいものを即日運んで販売する、新幹線輸送 PR イベント「つばめマルシェ@博多」にて販売しました。指宿食材は、鹿児島食材を知り尽くした地域商社「株式会社オービジョン」に選定してもらい、約 4 時間で博多へ届けました。持続可能な地域経済活性化など列車物流が可能にする地域課題解決を今後も推進していきます。

[https://www.jrkyushu.co.jp/common/inc/news/newtopics/\\_icsFiles/afiedfile/2023/07/12/20230712\\_zairaisen\\_shinkansen\\_relayyusou.pdf](https://www.jrkyushu.co.jp/common/inc/news/newtopics/_icsFiles/afiedfile/2023/07/12/20230712_zairaisen_shinkansen_relayyusou.pdf)

●スマートロッカーを活用した物流ハブサービス「BOPISTA(ボピスタ)」サービス継続利用意向 94%！鉄道輸送量・稼働日拡大で、7 月 10 日からサービス再開更なる利便性向上と環境負荷低減を実現します【西武 HD】

株式会社西武 HD は、株式会社 SPACER と協業する、スマートロッカーで気軽に即日受け取りができるサービス「BOPISTA」を 6 月末まで提供していましたが、稼働日を拡大(週 5 日から週 7 日)し、7 月 10 日から再開しました。

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9024/tdnet/2309588/00.pdf>

●タクシー事業者の DX を推進 LINE を活用した「配車サービス」の 8 月本格提供に向けて一部タクシー事業者へのテスト導入を開始【NearMe、パーソルプロセス&テクノロジー】

独自の AI を活用しシェアによって「おトクで、スムーズ」な移動体験を提供する“スマートチャトル”を展開する株式会社 NearMe と、総合人材サービス・パーソルグループのパーソルプロセス&テクノロジー株式会社は、AI と LINE を活用した「配車サービス」の 8 月本格提供に向けて、一部タクシー事業者へのテスト導入を開始しました。

<https://www.persol-pt.co.jp/news/2023/07/06/8082/>

●「西新宿エリアの魅力を高める新たなモビリティ」として自動運転モビリティが毎月走行します【新宿副都心エリア環境改善委員会、大成建設、ティアフォー、損害保険ジャパン、アイサンテクノロジー、KDDI、日本信号、大成ロテック、プライムアシスタンス、三菱電機】

一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会、大成建設株式会社、株式会社ティアフー、損害保険ジャパン株式会社、アイサンテクノロジー株式会社、KDDI 株式会社、日本信号株式会社、大成ロテック株式会社、株式会社プライムアシスタンス、三菱電機株式会社の 10 者は、2023 年 7 月 20 日から毎月 3 日間程度、自動運転モビリティの運行を実施します。本プロジェクトは、「西新宿エリアの魅力を高める新たなモビリティ」の走行を通じて、西新宿に多様な人を呼び込み、エリア内の回遊性向上や滞在促進により、まちの活性化へ貢献します。

[https://www.shinjuku-ai.com/press/2023/07/20/20230720\\_01](https://www.shinjuku-ai.com/press/2023/07/20/20230720_01)

●「なみえスマートモビリティ」による子ども向け送迎サービス「スマモビきっず」を開始【日産自動車】

日産自動車株式会社は、福島県浜通り地域で実証実験を行っているオンライン配車サービス「なみえスマートモビリティ」で、7 月 8 日より、子どもの校外活動を活発化させる送迎サービス「スマモビきっず」を開始しました。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/release-74bfbdf482030a2277a48ead4f1af0e0-230706-01-j>

●オンデマンド配車サービス「なみえスマートモビリティ」の運行を拡大【日産自動車】

日産自動車株式会社は、福島県浜通り地域で実証実験を行っているオンライン配車サービス「なみえスマートモビリティ」の運行を、7 月 18 日より、2023 年 3 月末に避難指示が解除された浪江町の特定復興再生拠点区域に拡大しました。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/release-3e84bb1a1d7440246fac991ae7857ba1-230718-00-j>

●公共交通を補完する新たな交通手段として注目 シームレスな移動や暮らしの実現を目指し、西武鉄道拝島線沿線で電動キックボードシェアリングを活用した実証実験を開始【西武 HD、BRJ】

株式会社西武 HD と、マイクロモビリティサービス「BIRD」を日本で展開する BRJ 株式会社は、西武鉄道拝島線エリアにおける交通利便性の向上および公共交通機関の利用促進を目的として、2024 年 3 月 31 日まで、電動キックボードシェアリング BIRD を活用した実証実験を行います。

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9024/tdnet/2309044/00.pdf>

●＜都心の広場・公園的空間のあり方を検証する社会実験＞Marunouchi Street Park 2023 Summer【Marunouchi Street Park 2023 実行委員会】

Marunouchi Street Park 2023 実行委員会（構成団体：大丸有エリアマネジメント協会、大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、三菱地所株式会社）は、都心の広場・公園的空間の在り方を検証する社会実験「Marunouchi Street Park 2023 Summer」を 7 月 27 日（木）～9 月 21 日（木）の 57 日間、丸の内仲通りにて実施します。

<https://erimane.com/news-marunouchi-street-park-2023-summer/>

●～環境省「水素内燃機関活用による重量車等脱炭素化実証事業」～「既販中型重量車の水素エンジン化事業性検証プロジェクト」において富山県内にて貨物輸送に向けた実証走行試験を開始【フラットフィールド、東京都市大学、トナミ運輸、北酸、早稲田大学アカデミックソリューション】

株式会社フラットフィールド、トナミ HD 株式会社の中核会社であるトナミ運輸株式会社、北酸株式会社、株式会社早稲田大学アカデミックソリューションは、2021 年 8 月より共同で実施している「既販中型重量車の水素エンジン化事業性検証プロジェクト」において、富山県内にて貨物輸送に向けた実証走行試験を開始し、2023 年 6 月 27 日に出発式を実施しました。

<https://www.tonami.co.jp/info/2023/06/27/6044/>

●NTT Com、日本カーソリューションズ、クレアトゥラが EV の走行データを活用した温室効果ガス削減プロジェクトの実証実験を開始 ～3 社が共創し、カーボンニュートラルへの貢献と将来的な事業性検証を開始～【NTT Com、日本カーソリューションズ、クレアトゥラ】

NTT コミュニケーションズ株式会社、日本カーソリューションズ株式会社、クレアトゥラ株式会社は、NTT Com が推進する「EV の走行データを活用した温室効果ガス削減プロジェクト」が J-クレジット制度の承認を受けたことに伴い、2023 年 7 月 7 日より実証実験を開始しました。

本実証実験において 3 社は、カーボンニュートラルへの貢献効果や事業性の検証を行います。

<https://www.ntt.com/about-us/press-releases/news/article/2023/0707.html>

●2025 年に国内全製造拠点をカーボンニュートラル化【三菱ふそうトラック・バス】

三菱ふそうトラック・バス株式会社は、2025 年までに国内の全製造拠点をカーボンニュートラル化する目標を表明しました。2025 年までの全製造拠点のカーボンニュートラル化は、日本国内の完成車メーカーで最も早い目標となります。

<https://www.mitsubishi-fuso.com/ja/news-main/press-release/2023/06/28/2023062801.html>

●産学連携！ 広島国際大学で近距離モビリティ WHILL を活用した「移動とリハビリの分離」について講義 ～歩行領域の移動手段をより身近に感じ、“自立的な生活を支援するツール”として考えていただくために～【WHILL、広島国際大学】

WHILL 株式会社は、2023 年 7 月 31 日に広島国際大学健康科学部医療福祉学科の学生向けに、近距離モビリティ WHILL を取り扱うネットヨタ広島株式会社とともに出張講義を実施します。7 月 17 日の『理学療法の日』をはさんだ 1 週間は、理学療法やリハビリ、介護予防について啓蒙イベントがさまざま行われています。時期を同じくして行われる出張講義は、

将来的に医療や福祉・介護の領域に携わる学生を対象に、歩行領域の新しい移動手段である WHILL を“自立的な外出や生活を支援するツール”の一つとして認識していただくことを目的としています。高齢化が加速する日本において、「移動」を支える立場からいつまでも元気に暮らし続けられる社会の実現を目指します。

<https://whill.inc/jp/news/133709>

●上諏訪駅で「電動アシスト付自転車」貸出しサービスを開始します！【ジェイアールバステック、JR 東日本長野支社】

ジェイアールバステック株式会社は東日本旅客鉄道株式会社長野支社と連携し、JR 上諏訪駅において、手軽な交通手段として「電動アシスト付自転車」の貸出しサービスを開始します。駅を拠点とした旅の新しい選択肢として、自転車に乗って、諏訪エリアの雄大な自然と名所を満喫しませんか。

[https://www.jreast.co.jp/press/2023/nagano/20230707\\_na03.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2023/nagano/20230707_na03.pdf)

●世界初の EV バイオマス燃料輸送船「あすか」が竣工タブレット端末を利用したポータブル運航支援システム“ナビコ”を搭載してパイロット試験も開始【e5 ラボ、Marindows、三菱造船】

株式会社 e5 ラボおよび三菱重工グループの三菱造船株式会社が普及を目指す“内航標準ハイブリッド EV 船”のデザインを採用した、総トン数 499 トンのバイオマス燃料輸送船「あすか」が 6 月 30 日に竣工し、建造造船所である本田重工業株式会社から旭タンカー株式会社に引き渡されました。船には、三菱造船が開発し、Marindows 株式会社を通じて内航海運への普及を目指すポータブル運航支援システム“ナビコ”が搭載され、今後パイロット試験を経て 2024 年春からの販売開始を計画しています。将来的な“内航標準ハイブリッド EV 船”の普及により、内航船業界の CO<sub>2</sub> 排出量削減ならびに船員の作業負荷軽減が可能になることに加え、“ナビコ”の活用が運航安全性の向上を可能にします。

<https://www.mhi.com/jp/news/23070702.html>

●共同開発の国産ドローンによる事業化検討を開始 ～開発から運用、人材育成までをトータルで提供するビジネススキームの構築を目指す～【出光興産、双葉電子工業】

出光興産株式会社と双葉電子工業株式会社は、共同で開発した国産ドローンを活用し、地域課題を解決するサービスの事業化検討を開始しました。複数の用途に対応できる機体の開発に加え、サービスステーションを起点とした設備点検、農業利用、物流配送、災害対応など、各種サービスの事業化に向けた検討を行うとともにドローンの操縦技術者の育成にも取り組む予定です。

<https://www.idemitsu.com/jp/news/2023/230703.html>

●ハワイ州ホノルルで米国初の完全自動運転都市鉄道システムが運行を開始【日立】

株式会社日立製作所の鉄道システム事業におけるグループ会社である日立レール社は、ハワイ州ホノルルにおいて、米国初の完全自動運転都市鉄道システム「スカイライン」の第 1 期区間の完成と旅客サービスの開始を発表しました。

この最新鋭システムの全区間が完成すると、市内の混雑した通りや高速道路における推定 4 万台／日の自家用車の移動(高速道路 8 車線分に相当)が鉄道に移行すると試算されています。

新路線は、ホノルル高速鉄道輸送機構(Honolulu Authority for Rapid Transportation)およびホノルル交通局(City and County of Honolulu Department of Transportation Services)が運用し、米国で運行を開始する主要な都市鉄道システムとしては 1993 年以來となります。

このハワイ州最大のインフラプロジェクトの第 1 期区間は 6 月 30 日(ハワイ時間)から乗客に開放されました。高架鉄道はイースト・カポレイ駅からアロハ・スタジアム駅まで 9 つの駅を結び、約 17.7km(11 マイル)に及びます。今後数年間にさらに二段階に分けて建設が進められ、ダニエル・K・イノウエ国際空港など、さらに先の駅へ旅客サービスが提供される予定です。

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2023/07/0701.html>

●自動車部品物流の脱炭素化へ 大型 EV トラックによる共同実証実験を中国で開始 パートナーシップで電池利用のリスク軽減へ【日郵振華物流有限公司、三井住友海上火災保険有限公司、パナソニック四維モビリティテクノロジーサービス北京有限公司】

日本郵船株式会社が出資する日郵振華物流有限公司は、中国での自動車部品物流事業における脱炭素化推進を目指し、三井住友海上火災保険有限公司、パナソニック四維モビリティテクノロジーサービス北京有限公司と共同で、2023 年 7 月から大型 EV トラック利用における課題解決に向けた実証実験を開始しました。

[https://www.nyk.com/news/2023/20230712\\_01.html](https://www.nyk.com/news/2023/20230712_01.html)

●ニューヨークのサマーストリートが 20 マイルの自動車通行禁止空地に拡大【NEW YORK CITY(WABC)】

ニューヨークのサマーストリートでは、普段車が占拠している道路を自動車通行禁止の歩行者天国にし、市民に開放する取組が行われています。2023 年は、7 月から 8 月までの 5 回の土曜日に、20 マイルにわたる歩行者空間を使って夏を楽しむことができ、サマーストリートが開始された 2008 年以來最大規模での開催となります。サマーストリートが始まると、ロッククライミング、サイクリング、ダンスなど、交通渋滞したニューヨーク市の通りでは普段見られないようなアクティビティが楽しめるようになります。

ニューヨーク市は、この取組を、公共空間に対する大胆で新しいビジョンと位置付けています。住民に力を与え、地元企業を支援し、オープンスペースを創出することで、市民の誰もが安全で自由なオープンスペースにアクセスできる社会を実現させます。

<https://abc7ny.com/summer-streets-nyc-car-free-open/13372856/>

---

#### 4. イベント情報

- 第 11 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(大田) ～世界遺産を持つ地方都市から学ぶ官民共創の持続可能な交通づくり～

日時:2023 年 9 月 27 日(水)～29 日(金)

場所:島根県立男女共同参画センター「あすてらす」研修室 3 など

主催:EST 普及推進委員会、エコモ財団、国土交通省中国運輸局

<https://www.estfukyu.jp/training2023.html>

- 親子でわくわく体験！南海沿線 2023 ～やってみたい！を育てよう～

日時:2023 年 7 月 1 日(土)～8 月 20 日(日)

場所:住之江車庫、小原田車庫、鉄道研修センター、他

主催:南海電鉄(株)

[https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/230530\\_1.pdf](https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/230530_1.pdf)

- 国土交通 Day 親子見学会

日時:2023 年 7 月 28 日(金)13:00～17:00

場所:東京臨海広域防災公園

主催:国土交通省 関東地方整備局、関東運輸局、東京航空局

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000299309.pdf>

- 国土交通省 こども霞が関見学デー

日時:2023 年 8 月 2 日(水)・3 日(木)10:00～16:00

場所:国土交通省会場及びオンライン

主催:国土交通省

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001618698.pdf>

- 令和 5 年度「環境省こども霞が関見学デー」

日時:2023 年 8 月 2 日(水)・3 日(木)10:00～16:00(入館は 15:30 まで)

場所:【常設展示】環境省第 1 会議室(中央合同庁舎 5 号館 22 階)

【イベント】環境省第 12 会議室(中央合同庁舎 5 号館 15 階)

主催:環境省

[https://www.env.go.jp/press/press\\_01854.html](https://www.env.go.jp/press/press_01854.html)

- 夏の思い出に！自由課題に！ちびっこ鉄道ワークショップを開催します！

日時:2023 年 8 月 5 日(土)10:00～14:45

場所: 黒崎駅みどりの窓口内スペース、駅長室

主催: 九州旅客鉄道(株)

[https://www.jrkyushu.co.jp/news/\\_icsFiles/afieldfile/2023/06/28/20230628\\_tetsudo\\_workshop\\_.pdf](https://www.jrkyushu.co.jp/news/_icsFiles/afieldfile/2023/06/28/20230628_tetsudo_workshop_.pdf)

● 海洋都市横浜うみ博 2023

日時: 2023年8月5日(土)・6日(日)10:00～17:00

場所: 横浜市役所 アトリウム

主催: 海洋都市横浜うみ協議会、関東運輸局

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000299429.pdf>

● 乗務員さんで行く! 「電車のダイヤをつくろう」せいふ鉄道教室 2023

日時: 2023年8月5日(土)・11日(金・祝)・12日(土)

場所: 飯能駅南口(午前の部)、横瀬駅 駅前ロータリー(午後の部)

主催: 西武鉄道(株)

<https://www.seiburailway.jp/file.jsp?id=15344>

● 第15回土木と学校教育フォーラム「地域を支える『インフラ』の学習 ～道路、河川、港、鉄道、そして街と自然～」

日時: 2023年8月6日(日)9:00～16:30

場所: 土木学会講堂および AB 会議室

主催: (公社)土木学会教育企画人材育成委員会

<https://committees.jsce.or.jp/education04/node/48>

● 第26回地域バス交通活性化セミナー「大都市近郊における乗合バス復権に向けて」

日時: 2023年8月9日(水)13:30～16:55(受付開始: 13:00)

場所: 尾張一宮駅前ビル(i-ビル) 7階シビックホール

主催: 国土交通省中部運輸局、エコモ財団

[https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/26th\\_seminar.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/26th_seminar.html)

● ロマンスカー親子遠足 箱根

日時: 2023年8月16日(水)8:30～15:00

場所: 小田急線新宿駅西口地下小田急旅行センター新宿西口前

主催: 小田急電鉄(株)

<https://www.odakyu.jp/news/dq4094000002uk6-att/dq4094000002ukd.pdf>

● 夏休み豊鉄市内線 ドキドキ電車運転体験

日時: 2023年8月17日(木)10:00～

場所:豊橋鉄道市内線 駅前電停

主催:豊橋鉄道株式会社

<https://www.toyotetsu.com/news/000386.html>

●地域脱炭素ネットワーキングイベント

日時:2023年8月31日(木)10:00~17:00

場所:東京国際フォーラム ホールB7

主催:環境省

<https://local-re-jinzai.env.go.jp/carbon-neutral-nw/>

●第18回日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)

日時:2023年9月22日(金)~23日(土)

場所:栃木県宇都宮市 ライトキューブ宇都宮

主催:(一社)日本モビリティ・マネジメント会議

<https://www.jcomm.or.jp/convention/>

●乗用車のエコドライブ講習認定申請のための2023年度インストラクター養成研修会

日時:2023年11月2日(木)9:30~16:00

場所:ファインモータースクール 大宮校

主催:エコモ財団

[https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/data/instructor\\_training\\_course-mousikomisyo20231102.pdf](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/data/instructor_training_course-mousikomisyo20231102.pdf)

---

## 5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html)

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://mm-education.jp/magazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html)

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyuu/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecomu.or.jp](mailto:magazine@ecomu.or.jp)(担当:中道)

---

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

ESTポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>